

安全でおいしい高品質な水 豊かな地球環境を次世代に 環境負荷低減に向けた取組



水道事業と地球環境

水道事業は、地球が育んだ貴重かつ限りある水を原料に水道水をつくり、お客さまにお届けする事業であり、地球環境と極めて深い関わりがあります。

水道局では、将来にわたって安定的に高品質な水道水を御提供するため、120年近くにわたり緑豊かな水道水源林を大切に守り育て、管理してきました。

しかし、お客さまに水道水をお届けする過程で、都内で使用される電力量の約1%に相当する年間約8億kWhという多量のエネルギーを消費し、環境に大きな負荷を与えています。

また、気候変動は、渇水、洪水、水質悪化など、水道事業に対して大きな影響を与えます。事業の継続のためには環境負荷の低減は極めて重要な課題です。

平成30年には、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）から「1.5℃特別報告書」が発表されました。この報告書では、産業革命以前からの気温上昇を1.5℃以内に抑えた場合と2℃以内とでは気候変動がもたらす影響に大きな差があることが示されました。平成27年に採択された気候変動に関する国際的な枠組みであるパリ協定の2℃目標を上回る取組の必要が叫ばれています。

これを受けて東京都も、気候変動の影響を緩和するために、2050年にCO₂実質ゼロに貢献するゼロエミッション東京の実現を宣言しました。持続可能な開発目標（SDGs）を実現するうえでも気候変動対策は最大の課題と言えます。また、海洋プラスチックごみについても近年問題視されてきており、新たな環境問題にも取り組む必要があります。

このような状況の中、私達水道局も持続可能な水道事業の実現のために、積極的に環境対策に取り組んでいく使命を強く自覚しています。

の安定供給に努めるとともに 引き継げるよう、 を一層推進してまいります。

環境施策の展開

私達はこれまでも、定期的に環境計画を策定し、環境対策の取組を進めてきました。お客さまへの安定給水を大前提に、再生可能エネルギーの導入、水道水源林の保全、水資源の有効利用のほか、エネルギーの省力化にも効果の高い漏水防止対策等、幅広く施策を展開してまいりました。

平成27年3月には、「東京都水道局環境5か年計画2015-2019」を策定し、目標の達成に向け、様々な取組を着実に推進してまいりました。令和2年3月には、「東京都水道局環境5か年計画2020-2024」を新たな環境計画として策定し、4つの基本方針「CO₂排出量の削減」「健全な水循環と豊かな緑の保全」「持続可能な資源利用」「多様な主体との環境コミュニケーション」を掲げました。今後は新計画の目標達成に向けて、取組を推進してまいります。

お客さまとのコミュニケーション

水道事業に関わる環境負荷を低減し、環境計画の実効性を高めていくためには、お客さまの御理解と御協力が不可欠です。

そこで、水道局の環境への取組について、お客さまへの説明責任を果たすとともに、その声を可能な限り施策に反映させていくため、毎年、環境報告書を作成し、公表しています。

本報告書では、「東京都水道局環境5か年計画2015-2019」の目標に対する取組状況と達成度を報告するとともに、計画推進の仕組みや環境保全に掛けたコストとその効果についても明らかにすることにより、水道局の環境施策を広く、わかりやすくお伝えすることを目指しました。

持続可能な水道事業に向けて

近年、日本各地で自然災害が猛威を振るい、安定給水に支障をきたす事例も増えるなど水道事業を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。こうした中、私達は本年7月に持続可能な水道事業運営に向けた長期的な方針である「持続可能な東京水道の実現に向けて 東京水道長期戦略構想2020」を策定しました。また、「東京都水道局環境5か年計画2015-2019」は昨年度で計画期間が終了し、本年度からは「東京都水道局環境5か年計画2020-2024」に基づく取組がスタートしています。

今後とも、お客さまの生活と首都東京の都市活動を支える基幹ライフラインの担い手として、安全でおいしい高品質な水の安定供給に日々努めてまいります。更に、持続可能な水道事業を目指し、豊かな地球環境を次世代に引き継いでいくことができるよう、環境負荷低減に向けた取組を職員一丸となって一層推進してまいります。

令和2年10月
東京都水道局長

浜 佳 葉 子